

テーマ：こんな子どもたちになってほしい

チーム：地域チームと学校チーム

【学校チーム】委員の意見

司会：小中一貫の「めざすべき子ども像」とは、中学3年生になったときにまでにきらりと光る子ども、一人一人の個性や能力が成長していけるような子どもになってほしいということ。そのためにどのような子どもになってほしいか、ということと意見をいただきたい。

- 陸別の子はあいさつのできる子が多いと思う。
- 人の話をよく聞く（いうことを聞く）姿勢があると感じる。
- 逆にいやなことも聞き入れる（いいなりになる）弱い面もあるかと思う。
- 陸別の子は素直。転んでも立ち上がれるようなエネルギーがあれば良いと思う。
- 陸別の子は地域のみんなに守られながら成長している。周りの子にも優しい。
- 小さいコミュニティの中で成長しているので、何かわからないことなど（異物）に対して弱いかも。
- ほかの地域の子とも関わる団体に属して活動する機会があった子は免疫が少しできた上で中学校を卒業し外に出て行ったが、そうではない子はいきなり外の世界に出て行くこととなり心配。
- 陸別の子は素直で純粋、かわいい。幼い部分あるかと思う。
- 私はこれが好きでそのことに関しては誰にも負けない、など自分に自信を持てる何かを持てるようにしていったらと思う。好きなものを増やしてほしい。
- みんな素直でなんでも受け止める。弱い部分はいろいろな意見や考えをまとめることや自分で考えて動くことが苦手に見える。
- 熱く本気になることが少ないと感じる。何か好きなことを見つけて熱くなるのもいいと思う。
- 転んでも立ち上がる力、自信が持てるような心の武器、そして家庭での家族の支えが必要ではないかと思う。
- 人になぐさめてもらう、励ましてもらう、また、逆に人を励ますというような経験が自分に自信をつけることにつながると思う。
- 自己肯定感、自己有用感、人との関わりがないとできない。いろいろな経験を通して自分の良さを見つけ、自信につなげていけるといいのでは。
- なれ合いの中では、自信は生まれてこない。学校以外のほかとの関わりを持てる経験がたくさんあるとよい。やったことがない経験をするとまた違った成長がある。

【地域チーム】委員の意見

司会：小中一貫教育と関連し、中学校3年生卒業時をイメージしてほしい。

- 自信を持って巣立っていける子になってほしい。
- 中学を出るまでは、一般常識を教える。それがあれば変なこともしない。
- 一般常識は勉強より大事だと思う。人とのコミュニケーション、礼儀、時間を守るなど、人間としてきちっとしたことをできる大人になってほしい。勉強より大事だと思っている。
- コミュニケーション力が必要。学力は基本的なものがあれば生きていけられる。仕事上、専門的なものは社会に出てから学ぶこともある。縦社会、人に教えることもコミュニケーション力。一番大切だと思う。

- ちゃんとした人間にそう育てるか。ちゃんとしてないと社会に出ても使ってもらえない。
- 基礎的な学力は学校で、そこから先は自分。コミュニケーション、そこにどう向けていくか、大人の役割。
- 好きなことを仕事にできる人は少ない。今の仕事を子どもの時に継ぐとは思っていなかった。やってみて楽しいと思うときもある。将来これをやりたいとどの段階で決めるか。小さいときから決めているとまた違う。
- 自分はやりたいことを見つけられなかった。いろいろやっていると限界を感じることもある。現場だけでなく経営も大事で、考え方を改めて勉強している。現場でのコミュニケーションが重要。現場の意見を吸い上げることも必要。コミュニケーション力が大切。
- コミュニケーション力は重要。具体的にどうするか。陸別は人間関係が固定されており、コミュニケーションも固定されている。
- コミュニケーション力を持って羽ばたいてほしい。
- 根底に強い芯を持ってほしい。負けない力。
- 学校だけでなく、地域のイベント参加などでもできるのでは。
- こどもの経験値が上がればよい。今の子のコミュニケーションはSNS、オンラインなど。
- SNS、オンラインなどは、本当のコミュニケーションではないと思う。
- 私たちの時代は、はじめからそういうものがある生活ではなかった。
- 今の子どもたちは、そういうものの中では密になっていると思う。